

「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」 を合言葉に、エコ委員会が主導して みんなで取り組むエコ・スクール活動

エコスクール活動に取り組んで 18年目。学校ビオトープを活用しながら、児童会エコ委員会のメンバーを中心として児童がアイデアを出し合っている活動に、家庭・地域・地元企業と連携した学習活動を重ね、共に学べる環境学習を展開した。

1 学校の概要

油日小学校は、滋賀県南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月に完成した学校ビオトープも、今では木々が大きく育ち、カエル、メダカ、ドジョウ、ドンコ、タニシ、カワニナなど多くの生物が観察できる場になった。また、校庭にも数十種の木々が育ち、よい活動場所となっている。

2 活動の実際

(1) エコ委員会の取り組み

ア. ゴミゼロの日の取り組み



5月30日が「ゴミゼロの日」であることと、その日の取組みについて、エコ委員会が説明し、昼休み10分間全校一斉のゴミ拾いを行った。自分たちでできる「ゴミゼロ作戦」について意識を高めた。

イ. びわ湖の日の取り組み

各学年単位でビオトープ周辺の除草作業を実施した。エコ委員会が、「びわ湖の日」CDを活用して、「びわ湖の日」の概要を説明したり、清掃活動を呼びかけたりした。

ウ. ザリガニの住み分け活動

エコ委員会では、ビオトープの池に地域固有の水草であるアサザを取り戻そうと水草の生育しやすい環境づくりを探ってきた。今年度は、ビオトープの小川の下流にザリガニの子どもが大量に発生しているのを見つけ、そこを中心にザリガニの

住み分け活動を行った。住み分け活動というのは、捕まえたザリガニを駆除するのではなく、ザリガニ池や展示用の水槽に移すことで、ビオトープもザリガニの命もどちらも大切にする活動である。エコ委員会の児童は、毎朝「もんどり」をしにかけてこの活動に熱心に取り組むなど、ビオトープの保全活動をすることができた。



エ. 自然と遊ぼう会(春・秋)

6月と10月の昼休みに、エコ委員会が中心となりワークショップ形式で行う活動である。春の自然と遊ぼう会では、子どもたちのアイデアでザリガニ取りをワークショップに取り入れ、ザリガニの住み分け活動に委員会の児童だけでなく、様々な学年の児童が参加することができる機会となった。その他にも、ビオトープの保全に関わるクイズやバッタを捕まえる体験活動などを行い、全校児童が自然と触れ合ったり、環境の保全について楽しく学べたりすることができた。秋の自然と遊ぼう会では、ドングリゴマ作り体験やオナモミの的当てゲームなどを行った。



オ. 苗木作り活動

ビオトープの中に、親友の森という場所があり、そこに植樹するための苗木作りを行った。ビオトープに来ている鳥が種を落とし、自然にビオトープの中で成長してきたと思われる苗木を鉢植えに移し、育てている。来年の秋には、親友の森に移植する予定である。

(2) 環境フェスティバル 10月7日(土)

この行事は、学校で取り組んでいる環境教育を、家庭や地域に広く紹介するために、親子で学ぶ場として全校をあげて行っている活動である。

内容は学年ごとに、次の活動を行った。

- ・ 1年 アサガオのつるのリースづくり
- ・ 2年 ひつつきむしの絵、虫クイズ
- ・ 3年 池の生き物観察と飯盒炊さん(防災)
- ・ 4年 丸太切り体験 木切れでクラフト
- ・ 5年 水中の微生物観察、ヨシ笛づくり
- ・ 6年 油日神社の宝物殿見学と写生

地元森林組合やみなくち子どもの森の学芸員など地域の方々からの幅広い協力を得て、専門的な指導も受けることができた。子どもと一緒に自然と触れ合ったり、環境保全のために自分たちができることを話し合ったりする機会を得られて良かったという保護者の感想が多く寄せられた。



(3) エコ・スクール支援委員会の取り組み

環境フェスティバルを支えるもう一つの重要な組織が「エコ・スクール支援委員会」である。この組織はPTAの中の専門機関として位置づけられている。保護者でもある委員には、計画から運営まで自分の興味関心を活かしながら関わっていただいた。中でも「ひつつきむしの絵」と「飯盒炊さん」のショップでは、支援委員自身がフリップを作成し、活用してプレゼンを行った。実施後の総括会議では、保護者からのアンケート結果や支援委員の反省をもとに、学習活動の見直しや当日の動きなどについて具体的に意見が出され、次年度の活動につながる話し合いの場となった。

(4) ハナノキ学習やグリーンカーテン

生活科や総合的な学習の時間「ハナノキタイム」でも3年の薬草博士など、ビオトープを中心として学習を展開している。また、夏場の節電対策に今年も校舎南側にグリーンカーテンを栽培した。

(5) 地域や地元企業との連携「油日小学校薬草園」

「くすりのまち甲賀町」のビオトープとして、地元企業シオノギの油日薬草園の指導と協力を得ながら、地域種の薬草を栽培した。

まずは、3年生が薬草学習の一環としてアイを栽培し、アイ染めに挑戦。朝摘みした生葉を使い、薬科大学の先生の指導のもと、色の変化に感動しながらたたき染めと絞りを加えた青汁染めに取り組んだ。

また6年生は、ムラサキを栽培し、家庭科の「お世話になった人へのプレゼント」の布材料として紫根染めをした。木綿布に染め付ける際に出る悪臭除去について、企業専門家に教えていただき昨年より改善することができた。

また、毎年、地元滝地区の「ササユリの会」より、パイオで育てた球根を分けてもらいビオトープに植えているが、今年度も花をつけた。滝地区の子どもたちの継続が実を結んでいる。

学校名	甲賀市立油日小学校
住所	甲賀市甲賀町上野1322
電話番号	0748-88-2079
E-mail	koka30102032@city.koka.lg.jp